

史上最大！ アメリカ横断ウルトラクイズ



1977年 参加者 視聴率
10月26/27日放送 404人 約25%

第1次予選 後樂園球場



404 → 80

○×クイズ

敗者復活
なし

スタンドでの札挙げ方式。不正解即失格。正解はオーロラビジョンに表示。×を「バケ」と言う福留さんが印象的。

第2次予選 東京国際空港



80 → 40

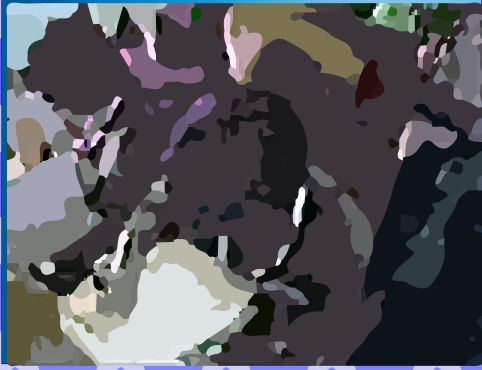
ジャンケン

敗者復活
なし

1対1。先に4回勝ったほうの勝ち。クイズをせずに勝者を決めるという前代未聞の形式に挑戦者たちは驚いた。

東京→ Guam

第1チェックポイント



40 → 30

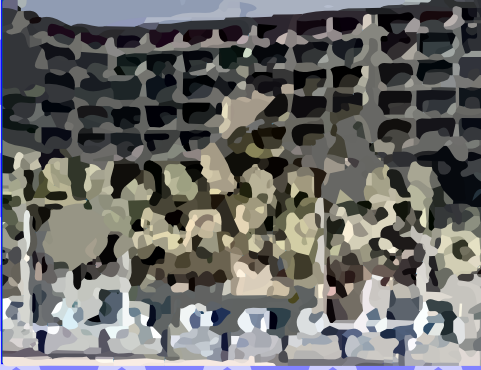
800問
ペーパークイズ

機内
1位 松尾清三

第1回のみ800問。さすがに多かったクイズ終了後、「先生、先生」と同行ドクターを呼ぶ挑戦者続出。結果発表は機内読上げ。

Guam

第2チェックポイント



30 → 20

○×式

罰ゲーム
なし

札挙げ○×。勝ち抜け規定数ちょうどになるまで○×は繰り返さなかった。しかも、直前の問題で不正解になった挑戦者のみ敗者復活戦を実施するという厳しいルール。

ハワイ

第3チェックポイント



20 → 10

1対1
早押しクイズ

罰ゲーム
沈みそうな船で空港まで漕ぐ

2ポイント勝ち抜け。お手つき誤答はマイナスポイント。初のウルトラハット登場。波が高く、揺れる船上での戦いとなった。

サンディエゴ

第4チェックポイント



10 → 6

インスピレーション
クイズ

罰ゲーム
シャチのキス

3択インスピレーション。4ポイント勝ち抜け。カーター大統領のそっくりさんや世界一伸長の高い女性が登場。

フェニックス

第5チェックポイント



6 → 5

早押しクイズ

罰ゲーム
どつきりヒッチハイク

3ポイント勝ち抜け。お手つき誤答は後方サボテンまで走って戻る。全員スルーでも全員走る。

ダラス

第6チェックポイント



5 → 4

早押しクイズ

罰ゲーム
馬に乗って帰国

3ポイント勝ち抜け。お手つき誤答はマイナスポイント。カウボーイ達の明るい声援。松尾さんのマイクを奪っての歌は伝説モノ。

ニューオーリンズ

第7チェックポイント



4 → 3

早押しクイズ

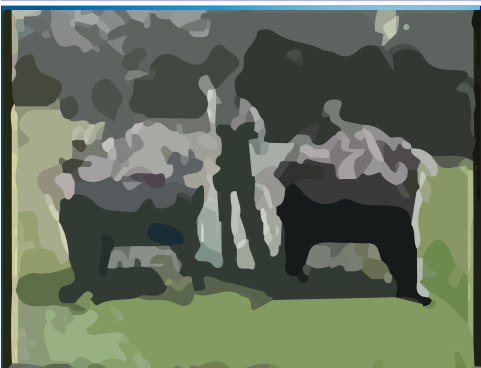
罰ゲーム
なし

(後日スタジオでびっくり箱にひっかかる)

5ポイント勝ち抜け。生演奏を聞いての早押しクイズも実施。ここで敗退した女性挑戦者と勝者は涙の別れとなってしまい、罰ゲームができる空気にならなくなったという。

アトランタ

第8チェックポイント



3 → 2

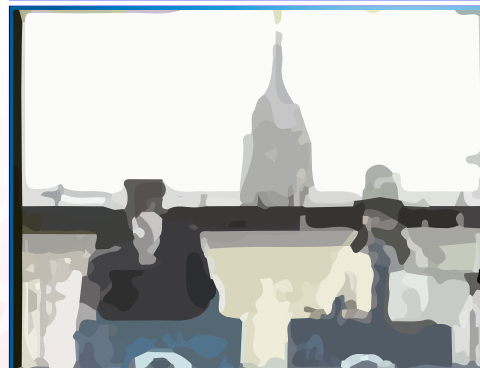
ゲストクイズ
早押しクイズ

罰ゲーム
インディアンショーで火あぶり

前半は3択クイズ。後半は早押しクイズ。合計7ポイント勝ち抜け。マグワイア兄弟がゲスト。アメフトのポーズは大迫力。

ニューヨーク

決勝ポイント



2 → 優勝

早押しクイズ

ウイニングアンサー
瀬戸口藤吉

10ポイント優勝。開始前に「東京音頭」の口笛を吹いて落ち着こうとする松尾さん。最終結果 +10:+3

ラスベガス

賞品地



土地1エーカー
(1226坪)
※砂漠

予算の都合で砂漠の土地しか見つからなかったそうでこの結果、ウルトラの賞品はオチがつくようにしたという。